

Johannes Kropfitsch

ヨハネス・クロプフィツチュ



ヨハネス・クロプフィツチュ(1960 年生まれ)は、最も優れたウィーンのパイニストの一人であり、彼の演奏は、知的で且つ高度な技術力を確信させるものがある。ハンス・ペーターマンドルおよびハンス・グラーフの下、ウィーン国立音楽大学で学び、1985 年に満場一致で卒業する。スタニスラフ・ネイガウス(ロシア)やアレクサンダー・イェンナー、ヴィルヘルム・ケンプのマスタークラスを受講。1987 年には、法学博士学位を取得する。

ヨハネス・クロプフィツチュは、ブゾーニ国際ピアノコンクール(ボルツァーノ)やロン＝ティボー国際コンクール(パリ)、アレッサンドロ・カーサグランデ国際ピアノコンクール(イタリア)、セニガリア国際ピアノコンクール(イタリア)にて入賞、ファイナリスト。1985 年にウィーンで開催のベーゼンドルファーコンクールで優勝し、ベーゼンドルファーのグランドピアノを贈呈される。

それ以来、ソリストとして定期的に演奏する傍ら、妹のエリザベス(Vn.)と弟のシュテファン(Vc.)と共に、『ジェス・トリオ・ウィーン』を結成し、ウィーン・コンツェルトハウスにて、定期演奏会を開催している。

ソリストとして、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルテウム管弦楽団、ウィーン放送交響楽団、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団等の著名なオーケストラと協演。ロンドンのウィグモア・ホールやニューヨークのカーネギーホール、リンカンセンター、東京、ソウル、モスクワ、バルセロナ等の世界の主要な音楽ホールで演奏を行う。

スタンダードなレパートリーに加え、これまでに、ベートーヴェンの 32 のソナタ全曲やバッハの平均律クラヴィア曲集全曲、ショパンの 24 の練習曲全曲の演奏会も開催。

彼は、1993 年にペルトシャッハ・アム・ヴェルターゼー(オーストリア)で創設された権威あるブラームス国際コンクールの創設者である。また、ヨハネス・クロプフィツチュは、シェーンベルク、ベルク、ヴェーベルン等の現代音楽のスペシャリストでもあり、ウィーン国際ショパン協会の理事も務める。

1985 年にウィーン国立音楽大学にて、ハンス・グラーフのクラスにおけるアシスタント講師となる。1998 年より、ウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学にて教授を務め、2008 年には、鍵盤楽器部の主任も就任。2014 年より副学部長に選出されている。